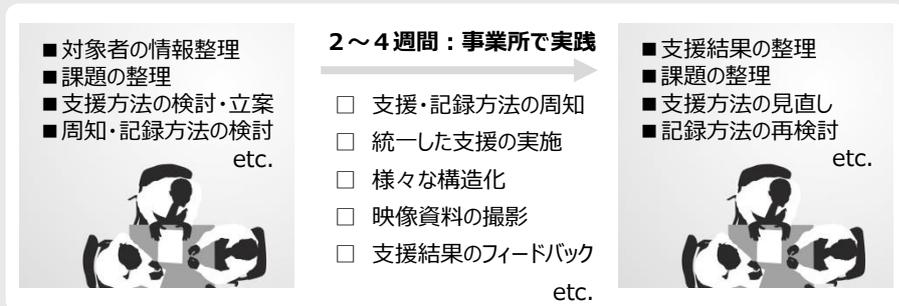


【強度行動障がい支援者養成研修（専門研修）とは】

平成24年度から本県独自の研修（取り組み）として「鳥取県強度行動障がい支援者養成研修（専門研修）」は行われています。同研修では、①支援現場のリーダーの養成、②支援ツールの効果的な活用、③PDCAサイクル（実践と振り返り）の理解と習得、を目的としています。

研修のプログラムは全7回です。

その内2～6回目は、参加者が実際に関わっている支援困難事例を基に、グループ内で事例検討を行います。対象者の評価（対象者の理解、何に困っているのかなど）から、具体的な支援方法・計画の立案、支援結果の評価、支援方法の再検討を繰り返し行います（右図）。



本研修の一環として、各受講者が取り組んだ実践成果（全12事例）を、広く関係者に情報発信する場として「実践報告会」を開催しています。行動障がいについての対処法だけでなく、行動障がいの機能（起きている理由や意味）や未然に防ぐ対応などについて理解を深めていただくきっかけになれば幸いです。

「行動障がいがある方が安心して生活を送り、そして新たなことにチャレンジできる。」そんな社会となることを目指し、本実践報告会を開催します。

- 日 時： 令和元年 **12月24日**（火） 13:30～16:30（12:30 受付開始）
- 場 所： 倉吉未来中心 セミナールーム3（〒682-0816 倉吉市駄経寺町212-5）
- 対象者： 行動障がい児・者の教育や医療、支援に携わっている方、及び関係者
- 定 員： 100人
- 参加費： 無料
- 日 程： 裏面を参照してください
※ 内容・時間は変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
- 申込み： 別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、**12月13日**（金）までに、FAXにてお申し込みください。
※ なお受講決定のご連絡はいたしません（中止などの場合のみ、ご連絡します）。
※ 連絡がない場合は、上記日程のとおりご参加ください。
- その他： 会場の大きさなどにより空調の温度調整が難しい場合があります。体温調整ができる衣類をご持参いただきますよう、ご案内いたします。

■ 日 程： ※ タイトル・内容・時間は変更になる場合がありますので、予めご了承ください

時間	内容
12:30 - 13:00	受付
12:30 - 13:30	【ポスターセッション】 8事例 12:30-13:30 の時間で、本研修受講者 8 名によるポスターセッションを行います。様々な年代、そして様々な行動障がいがある方への実践事例です。 支援結果以外にも、「どのようにチームで支援に取り組むのか?」「統一した支援を実現するための工夫」など、行動障がい者支援のポイントや、実際の支援に役立つヒントが散りばめられているはず。 
13:30 - 13:35	開会挨拶
13:35 - 14:00	「専門研修の概要と強度行動障がい者支援で大切なポイント」 鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学講座 教授 井上雅彦 氏
14:00 - 16:00	【実践報告】 4事例 (各発表 25分 + 質疑応答 5分)
16:00 - 16:30	総評・まとめ

【 12事例の発表内容 (タイトル仮称) 】

- ① 強く顔叩きをするAさん(青年期)への取り組み
- ② 朝食前後に放尿するBさん (壮年期) への取り組み - 本人の思いを探る -
- ③ 居室で落ち着いて過ごせるように - 余暇にチャレンジ (C様: 壮年期) -
- ④ 中年期になって施設入所支援を利用したDさんへの支援 - 歯磨きの習慣化を目指して -
- ⑤ 通所事業所における、他害や物投げがあるEさん (少年期) への取り組み
- ⑥ 頻繁な離席で作業中断していたFさん (壮年期) への支援経過
- ⑦ 食事前の待ち時間に粗暴行為が起きているG様 (壮年期) への支援
- ⑧ すれ違いざまに人を叩くH様 (中年期) への余暇支援の取り組み - 事業所として対応に苦慮していた方への支援 -
- ⑨ 頻繁に叫んだりドアを叩いたりする I さん (青年期) への支援事例
- ⑩ 物投げがある J 様 (青年期) への取り組み
- ⑪ 担任と支援方法を検討した1事例 - ほんとはすねたくない -
- ⑫ 病院組織の中の、弄便・暴力をもつ L 様 (壮年期) へのアプローチ

【申し込み、及び研修に関するお問い合わせ】

社会福祉法人鳥取県厚生事業団 (担当: 山根、信原)

〒689-0201 鳥取県鳥取市伏野2259-43

Tel 0857-59-6033 Mail honbu-kikaku3@tottori-kousei.jp